

Tottori Violin Making School

2025 年度 学校概要

1. 修行年数 3 年間（デュアルシステム*による）
2. 修行時間 午前 9 時から午後 5 時まで
3. 休日 土曜・日曜・第 3 月曜日
4. 学費等
 - 入学金 300,000 円(税別)
 - 道具代 250,000 円(税別)（初年度のみ）
 - 授業料 60,000 円/月（税別）
 - 施設費 5,000 円/月（税別）

* 3 年次に就職コース・独立コースを選択

5. 卒業後について

希望により株式会社みささ弦楽プロジェクトへ就職、他に独立・留学、楽器店への就職等。
個人にあった働き方を提供する。

6. カリキュラム

- 1 年次 基本的な生活を整える
職人としての考え方を身につける
木工についての基礎・道具の製作・道具の扱い方を学ぶ
楽器についての知識・奏法を学ぶ
楽器製作について学ぶ
 - 2 年次 1 年次の基礎をベースに、さらにより良い環境作りに励む
ヴァイオリン 2 本、ヴィオラ 1 本の製作、弓の毛替え
 - 3 年次 楽器の修理・調整
弓の修理・調整
アトリエ研修
卒業製作
- その他 特別講師による授業、ワークショップなど

* 定員 5 名/年

デュアルシステム*とは・・・ドイツを発祥とする学術的教育と職業的教育を同時に進めるシステム



【鳥取ヴァイオリン製作学校】

岡野壮人主催により 2011 年開校された山陰初の弦楽器製作学校。

ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバスの擦弦楽器を専門としたプロフェッショナルの職人を目指し、学べる学校です。

デュアル・システム制度(ドイツを発祥とする学術的教育と職業教育を同等に学べるシステム)を導入しており、定員は1年間に5名まで、制作に伴う材木や道具の扱い方から始まり、3年間でヴァイオリンの製作・調整・修理・修復までの「基礎」を学びます。

ヴァイオリン製作に関する基礎技術と夢を叶えるための考え方を中心にした授業を行います。

鳥取ヴァイオリン製作学校校長

岡野壮人よりご挨拶

当校に興味を持っていただき、ありがとうございます。

当校では、ヴァイオリン製作を通して精神も修行していただきます。ヴァイオリンの製作だけでは一流の職人にはなれないからです。

職人を目指す上での基本として、整理・整頓・清掃・清潔・躰の5Sを身につけ、よりハイレベルの技術を学んでいくための勉強をしていきます。

また、生徒たちの目指す方向を共にサポートするためにご両親ともお話しさせていただきます。

ヴァイオリン職人の仕事は、300年前の技術や歴史を後世に引き継いでいくというロマンのある仕事です。演奏家の支えとなり、また刺激を与えられる存在であり、芸術文化においても、なくてはならない仕事だと自負しております。

当校には、ヴァイオリン職人として世界に通用する技術を学べる貴重な環境があります。さらに夢を叶えるための考え方を学び、生徒それぞれが人生を豊かに歩いていくために、私自身も学び続けたいと考えております。



profile TAKEHITO OKANO

1981年 鳥取県倉吉市で生まれる。

1995年 ヴァイオリン製作に興味を持ちヴァイオリン奏法を学び始める。

2000年 無量塔蔵六※主宰の東京ヴァイオリン製作学校入学。

2004年 卒業。無量塔蔵六の下、楽器製作に専念する。

2006年 プロイス弦楽器マイスター工房に勤める。Andreas Preuss の下、楽器製作、修理、修復の技術を学ぶ

2007年 2年にわたり、夏の間フランスにて研修を積む。

2009年 鳥取にてアトリエを構える。

2010年 鳥取県内にて弦楽普及活動を行う。岡野ヴァイオリン教室 開校。

2011年 Tottori Violin Making School 開校。

2013年 みささ美術館、館長就任。

クレモナ市にあるトレッキ宮殿（イタリア）にて開催された楽器展示会「CUVEE DARLING EXHIBITION」へ参加。

作家ガルネリ・デルジェ制作の「オレ・ブル（1744）」レプリカを出品し、レプリカ製作の技術の高さを評価される。

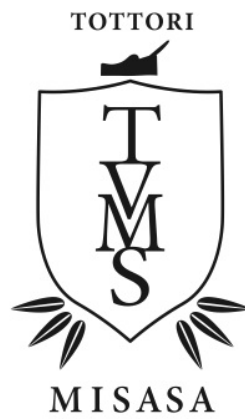
2015年 正式に名称変更が決まる「三朝バイオリン美術館」となり、会社を法人化。

現在 株式会社 みささ弦楽プロジェクト 代表取締役、TAKEHITO OKANO ATELIER のアトリエマスター、
鳥取ヴァイオリン製作学校校長を勤める。



2025年度

学校案内



鳥取ヴァイオリン製作学校